

主催：一般財団 カンボジア地雷撤去キャンペーン

カンボジアの 光と影

「まだウチには関係ない、と思っている人の為の」

海外進出セミナー

日程

平成24年 9月28日(金)

13:30~17:00(受付13:00~)

開催場所

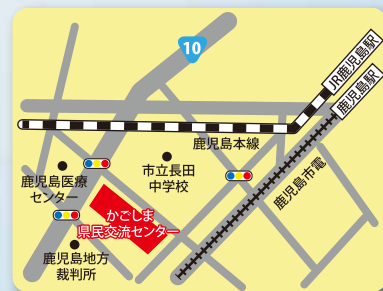
かごしま県民交流センター【第四研修室】
(鹿児島市山下町14-50 / tel:099-221-6600)

受講料

3,000円 ※受講料は事前振込みとなります。

(セミナーからの収益はカンボジアの地雷撤去活動へ寄付させていただきます。)

【振込先】楽天銀行 第一営業支店(251) 口座番号 / 7223622 イシズエワークス株式会社



第1部

「日本の今後30年予測と、アジア市場の優位性」(13:30~14:45)

—アジアは日本の内需。海外進出はまだ関係ない、とは言ってもらえません!—



講師 齊藤 雄三 (さいとう ゆうぞう)

イシズエワークス株式会社 代表取締役 / 経営コンサルタント・心理カウンセラー・ドリームゲートアドバイザー

講演内容

一番簡単な長期の経済予測は、「人口動態」を用いることです。つまり、消費人口がどれだけいるか、どれだけ増えるか。日本の将来はこのままだと悲観的な予測しか出てきません。しかし、爆発的に消費人口が増え、今後20~30年の成長が「約束」されているアジア。これを日本の「内需」として取り込んでいく事で、今後の活路を見出して行けるはず。カンボジア、ベトナムでの現地視察報告も兼ねて、事例を交えてお話させていただきます。

第2部

「カンボジアの光と影」—進みゆく経済発展と地雷被害の現状— (15:00~16:45)



講師 大谷 賢二 (おおたに けんじ)

カンボジアマーケティング・コンサルタントオフィス 所長
カンボジア地雷撤去キャンペーン 理事長

講演内容

今、「アジア一熱い」と注目されているカンボジアの経済発展と日本企業の進出の優位性について、日本では殆ど知られていない現地の生の情報と共に、大谷氏が16年に渡って取り組んできた、地雷被害の現状について、「光と影」の両方の側面を持つカンボジアの現状について、お話させていただきます。

光

経済発展によるビジネスチャンス

近年目覚ましい経済成長をとげているカンボジアは、ベトナムに続く新たな生産拠点として注目を集めつつあります。1993年の内戦集結以降、多くの国からの支援によって経済成長を実現させてきたカンボジアにとって日本は最大の援助国である反面、民間企業の進出については積極的に行われてきたとは言えず、中国・韓国などの後塵を拝してきました。しかしながら昨今、多くの日本企業が工場を持つ中国では人件費高騰や反日的なストライキなどが起こり、またベトナムの人件費高騰による人手不足、タイでも昨年の7月の選挙で、低所得者層である労働者の指示を受けた貢献党が勝利したことによる労働者賃金の値上げなど、アジア各国で問題が顕在化してきています。

そういったアジア情勢を受け、日本企業もいよいよカンボジア進出に目を向け始め、ヤマハ、アシックス、ユニクロ、イオン、ミネビア、味の素、NTTコミュニケーションズなど大手企業が現地での事業準備展開を始めようとしており、又銀行最大手である三菱東京UFJ銀行も駐在所設置を発表しています。さらに今年の3月には、カンボジア初となる証券取引所での取引が始まり、ますます日本企業の進出が加速されることは間違いありません。

カンボジア経済が今後発展する要因としては、①安価な労働力と労働人口の拡大、②インフラ整備の発展（電気、道路、インターネット）、③経済特別区による投資優遇、④民政による政治・社会の安定などが考えられますが、特にカンボジアの若い世代のやる気に満ちたパワーは、私たちに大きな夢と活力を与えてくれます。カンボジアの熱は、今まさに起こっています。熱気溢れるカンボジア経済の勢いをいち早く取込、企業経営のエンジンにして頂きたいと願います。



▲ カンボジアビジネス視察ツアー



▲ プノンペンの縫製工場

今なお続く地雷被害

地雷は、よく「悪魔の兵器」と言われます。それは、まず殺すことよりも手足を吹き飛ばすなど人をボロボロのようにすることを目的とした残虐性。次に、兵士、民間人、男女、子供の区別なく、踏んだもの全てを無残に傷つける無差別性。そして、一度埋設されると半永久的に効力を保ち、戦争が終わり平和になった後も被害を起こし続ける残存性。



▲ CMC(財)カンボジア地雷撤去キャンペーンの活動
地雷撤去・被害者支援

地雷を踏むと、手足は引き裂かれ、骨は砕け、爆風で地面にあった石、泥、草、身に着けていた衣類や靴の破片が肉に食い込み、あるいは目に入って失明する。たとえ助かったとしても体はズタズタになり、手足を失った精神的ショックは計り知れない。私たち日本人と同じように戦争とは何の関係もなく暮らす人々が、地雷によって、生活や仕事、夢や希望のすべてを奪われているのです。

64,057人。この数字は、カンボジア内戦終了から2012年現在までの地雷、不発弾被害者数です。カンボジアにはいまだに約600万個の対人地雷が埋設されており、今も毎日罪のない人々が手足を吹き飛ばされています。カンボジア政府や海外NGOによる地雷撤去活動が毎日行われており、地雷撤去員たちは40度を越す熱帯の過酷な環境下でまさに命がけの作業を続けていますが、一度でも気を抜くと命を失う可能性があり、さらに手作業で慎重に行われるため、毎年撤去できる地雷の数は4万個～5万個ほど。今のペースだとカンボジア国内の地雷すべてを撤去するには100年以上かかるといわれており、その間にもずっと地雷被害が起こり続けるのです。

影

セミナー参加申込書

会社名			
会社ご住所			
会社お電話番号		会社FAX番号	
参加者役職・氏名		参加者役職・氏名	
メールアドレス		メールアドレス	

【株式会社 インターウェーブ宛】 FAX:099-206-3120

※2名様以上でのお申し込みの際は、お手数ですが本誌をコピーしてお使いください。※ご記入頂いた個人情報は、主催者が責任をもって管理致します。